

— 第2回 (2月) 定例会 —

仙北市病院事業経営健全化計画案が可決される

私たち議員の4年任期の最後となる第2回定例会が、2月18日から3月17日まで28日間の会期で開催されました。昨今の中東地域での軍事的緊張の高まりは、国際社会全体に様々な悪影響を及ぼしております。一刻も早く軍事的攻撃が終結されることを願ってやみません。

本定例会では、専決処分関係2件、条例関係14件、予算関係29件、その他6件、指定管理者関係1件、人事関係3件、議員提出議案1件の計56件が審議されすべての議案が可決されました。

「仙北市病院事業経営健全化計画」可決なる

- ①田沢湖病院と角館総合病院の2つの市立病院の令和6年度決算が8億円の赤字となる。
 - ②この収支の悪化による資金不足を補うための一時借入金が増加し過去最高の15億円になる。
 - ③ ①②により資金不足比率が国の定める経営健全化基準(20%)を大きく上回る35.1%となった。
- ※経営健全化基準を上回った場合は、法律により令和7年度内に早期の資金不足解消に向けた「経営健全化計画」を策定しなければならない。

病院事業経営健全化計画→議会の議決が必要

- ◆計画期間 令和7年度から令和10年度までの4年間で資金不足比率を20%未満にする。
- ◆2つの市立病院の再編統合による組織改革
 - ・田沢湖病院の入院病床休止による診療所化など
- ◆計画期間中に取り組む収益確保策
 - ・医療・介護連携の強化による高齢者救急受入増
 - ・機能強化等による病床利用率向上の増収
- ◆計画期間中に取り組むコスト削減策
 - ・職員の適正配置及び退職者の不補充等での人件費の抑制など
 - ・非常勤医師及び研修医の報酬費の見直しなど

【反対討論】

- ①市民・職員への説明がないまま策定された。
- ②計画の内容が不明瞭である。
- ③観光・移住推進のためには田沢湖に病院が必要である。**賛成7 反対6で可決される**

議員提出議案(第1号) 可決される

西宮議員に対する辞職勧告決議案を全会一致で可決

- ・ハラスメント実態調査特別委員会が行った聞き取り調査が途中であるにも関わらず、何の連絡もなく議員としての本分が見受けられない。
- ・これまでの言動や行動は議会全体の品位と名誉を損ない、市民への信頼を著しく失墜させる行為であると判断した。

西宮議員から辞職願が提出され許可となる

本議会最終日に西宮議員から議長あてに「辞職願」が提出され、「追加日程第1」として、西宮議員の辞職願について審議され、全会一致で西宮議員の辞職が許可された。

ハラスメント実態調査特別委員会が調査結果を報告

- 8月の大雨による避難所での市議会議員のパワハラ事案等を調査してきた特別委員会は、議会初日に調査結果を報告した。
- ◆1月に市職員等への聞き取り調査を実施
 - ◆市職員や市消防団員への27件の事案が報告され避難所や消防団活動でパワハラ言動があった。
 - ◆市議本人に確認したが、否定している途中で体調を崩し全ての事案については確認できなかった。
 - ◆特別委員会は、短期間に27件の事案が報告されたことで、ハラスメントの実態はあったものと推測すると報告した。

議決結果/議員賛否 令和8年 第2回 仙北市議会 定例会(招集日:2/18 最終日:3月17日)

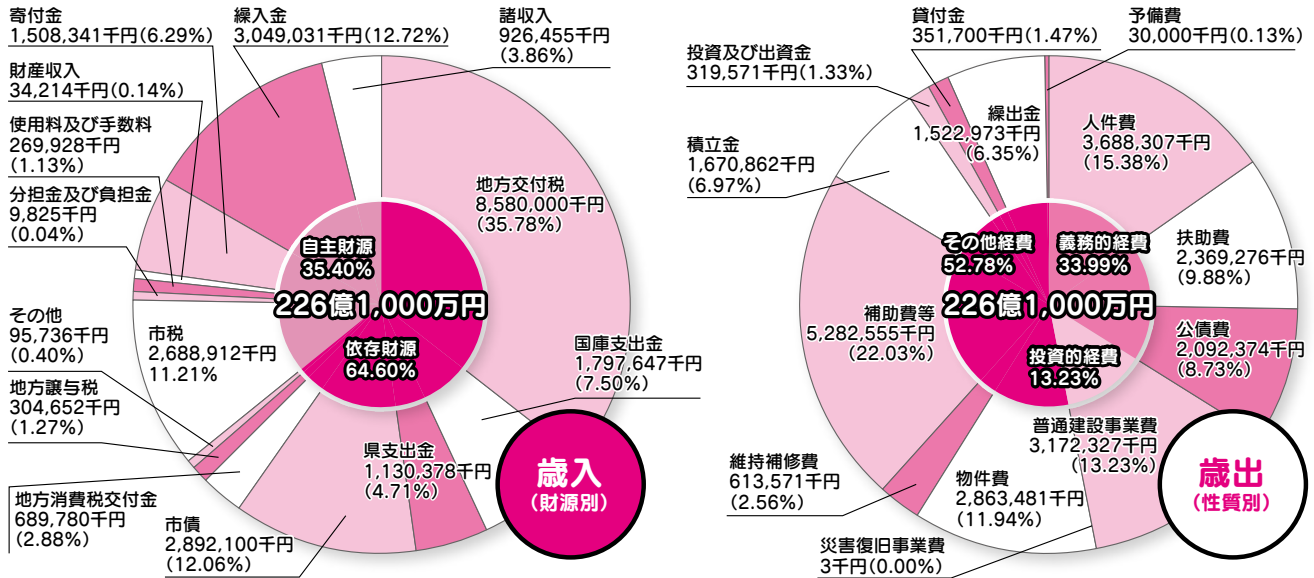
凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席 除→除斥(議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件名	議決月日	議決結果	養生会				せん新 ほ成く		公明党	共産党	無党派				
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	青柳宗五郎			小田島広仁	中村和彦	熊谷一夫	平岡裕子	荒木田俊一
議案第22号	令和8年度仙北市一般会計予算	3/17	可決								賛	反	賛		退	
議案第24号	令和8年度仙北市国民健康保険特別会計予算	3/17	可決								賛	反	賛		退	
議案第25号	令和8年度仙北市後期高齢者医療特別会計予算	3/17	可決								賛	反	賛		退	
議案第50号	仙北市病院事業経営健全化計画について	3/17	可決	賛	反	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	反	賛	退

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

令和8年度 一般会計当初予算3年ぶりに減少 226億1,000万円

令和8年度の当初予算は、角館上野庁舎改修や旧角館総合病院解体などの大規模事業が令和7年度で終了したことなどにより、3年ぶりのマイナス編成になりましたが、昨年度に次ぐ2番目の予算規模となりました。人口減少と少子高齢化の同時進行に加え、物価高騰や人件費、金利上昇などにより不安定な財政環境の中でも「幸福度全国NO.1のまち」を目指し、市民生活の安心・安全と地域経済の持続性を両立させる施策に重点をおいた予算であるとの説明がありました。



令和8年度 一般会計当初予算の主な事業

令和8年度の事業は、仙北市が抱える人口減少や少子高齢化などの危機的状況を克服するため、徹底した子育て支援、全産業における若年層の雇用促進、市民生活の安心安全と地域経済の持続性を両立させる施策に重点を置いた予算になっております。具体的には、小・中学校給食費完全無償化、保育所等のおむつ無償化、空き家解体補助金増額、インターナショナルスクール開校支援、中小企業の採用活動支援、小・中学校の統合、宿泊施設の誘致などの事業を盛り込んでいます。

事業名	事業費(千円)	令和8年度の事業概要
庁舎整備事業	109,078	田沢湖開発センター及び旧田沢湖保健センター解体・除却
小・中学校給食費の完全無償化	78,877	令和8年度から小・中学校の給食費を無償化する
保育所等おむつ無償化事業	7,671	0歳児から2歳児の園内で使用する紙おむつを無償化する
内陸線への補助金 & 利活用事業費負担金等	74,551	内陸線の運行維持の補助金や連携協議会の負担金等
インターナショナルスクール推進事業	6,564	8月開校に向けバックアップを強力に推進。交流人口の増加や雇用の拡大による地域活性化
角館高校地域みらい留学推進事業費	3,602	角館高校と共同で県外からの入学受入れを推進する。令和8年度から生徒の生活支援
地域運営体活動推進費交付金	20,340	地域での課題解決に向け地域運営体への支援を継続する(対前年同額)
育児支援金給付事業費	1,858	1歳児 & 2歳児に15,000円を支給し子育て世帯を支援する
妊婦のための支援給付事業費	6,541	妊娠届出時5万円、出生届出時5万円の合計10万円を支給し子育て世帯を支援する
子育てファミリー支援事業	1,621	3人以上の就学前の子どもを養育する世帯に15,000円の子育て支援サポート券を交付する
すこやか子育て保育料助成事業	32,346	全園児の保育料及び副食費を無償化する事業
就学前教育・保育施設等主食費無償化事業	2,829	全園児の主食(米飯)の無償提供を行い、育児に係る保護者の負担を軽減する
福祉医療費	199,170	0歳児から高校生までの医療費及び障がい者の医療費の自己負担分を助成する
人間ドック助成	3,780	国民健康保険被保険者を対象に21,000円を助成する
多面的機能支払交付金事業	176,253	農地・農業用施設の保全や地域全体の保全管理の取り組み強化を図る
有害鳥獣駆除事業	25,184	クマの対応策強化及び増加するイノシシの侵入防止柵費用の補助やシカ対策も強化する
有害鳥獣誘引樹木伐採補助金	3,000	クマを誘引する樹木の伐採に補助金を交付する
冬期交通対策費	655,885	冬期の除雪費を当初予算に計上(令和7年度は9億7,477万円)
小・中学校統合関係事業	3,752	統合関係校による統合準備委員会を設置し、統合に必要な協議を行う
特別会計及び企業会計への補助金	2,891,404	病院事業へ14億8,000万円、水道事業へ1億4,062万円、下水道事業へ6億4,000万円、にしき苑へ1億8,792万円などを支出
一般会計市債(借金)残高	216億2,820万円	令和7年度末見込みは228億8,646万円なので約12億5,800万円減少
財政調整基金(貯金)残高	5億2,177万円	令和8年度の当初予算編成後の見込み額であり令和7年度決算後変動有り

令和7年度 一般会計補正額△1,319万2千円を可決 累計310億1,153万5千円に

今年度の除排雪費 過去最高の9億4,447万円を計上！

令和7年度一般会計補正予算（第19号・第20号・第21号）の主な事業

高齢者世帯等除雪支援事業費	533万円	今冬の大雪により申請件数が見込みを上回ったための増額
国民健康保険特別会計（神代診療施設勘定）への繰出金	565万円	神代診療所の空調設備の改修工事費
冬期交通対策費	1億3,500万円	今冬の大雪による除排雪費の増額（合計9億4,447万円） ※過去最高額
高度外国人材等受入促進事業費	986万円	令和7年度の国の補正予算による次年度への繰越事業（高度外国人材等の受入れ促進及び環境整備事業）
戸籍事務・マイナンバー制度導入事業費	651万円	令和7年度の国の補正予算による次年度への繰越事業（住民基本台帳法改正に伴うシステム改修委託料）
一般障害者福祉総務費	4,259万円	令和6年度の国庫負担金等の清算に伴う返還金
障害者自立支援給付金	1,843万円	障がい福祉サービス等利用者増加に伴う給付金の増額
教育・保育施設給付金	3,659万円	公定価格の改定に伴う給付費
一般畜産振興総務費	2,992万円	対象事業者の事業廃止に伴う返還金
農地中間管理機構関連ほ場整備事業費	3,320万円	中川地区及び大瀬蔵野地区ほ場整備事業費負担金
人と地域を創生する観光誘客事業費	1,289万円	地域未来交付金を活用した、海外誘客事業、おもてなし向上事業等実施に係る委託料
公共温泉施設無料開放事業費	78万円	3/27～3/29の3日間、花葉館、クリオン、アルパこまくさの温泉を無料で開放する。

令和7年度 一般会計補正予算（第19号・第20号）の主な質疑応答

高度外国人材受入促進事業費986万円の増額

質問 増額の理由を伺う。

答弁 国の「地域未来交付金」を活用した事業であるが、令和8年度分の交付金が前倒しで、今年度に交付されたものである。

質問 当初予算と合わせると1,973万円の事業となるが、事業内容がよく見えていないのではないかと。

答弁 今回の補正額は繰越明許費を設定し、来年度事業とするものである。事業内容は、ITエンジニア等の優れた外国人材の市内企業への就業や起業の助けを行い、地域活性化を目指している。また、外国人材と起業の双方への支援体制強化のため、グローバル雇用・創業ワンストップセンターを運営している。

今年度は、34件の相談に対応し、マッチング会等の開催により、市内企業4社でのインターンシップに繋がっている。

人と地域を創生する観光誘客事業費ってなに？

質問 1,289万円の増額だが、事業の内容と予算の内訳を伺う。

答弁 こちらも、国の「地域未来交付金」を活用した事業であり、令和8年度分の交付金が前倒しで、今年度に交付されたものである。繰越明許費を設定し来年度事業とする。

質問 今年度の事業内容と今後見込まれる成果を伺う。

答弁 羽田空港第1ターミナル内出発エリアに設置されている産直館で、観光PRを実施する。観光PRブースを設置するための会場手配やプロモーションサポートの業務を委託している。民間事業者の参画を図り観光資源の情報発信も行っている。

また、高雄マラソン参加などによる国際交流やトップセールスによる海外からの誘客を推進している。

市長の海外セールスにより、過去最高の外国人の宿泊実績に繋がっている。